

電気柵の間違った事例と対策

平成29年4月
群馬県鳥獣被害対策支援センター

間違い事例1

イノシシとシカは夜行性だよ。電気柵は夜の間だけ通電すれば十分。ずっと夜だけ通電する設定にしてあるよ。

電気柵はちゃんと張ってあるのに、最近、また畑が荒らされるようになってしまった。もっと強力な柵じゃないと被害は防げないなあ。



ここが間違い！！

イノシシとシカは夜行性ではありません。昼間出没することもあります！

間違い事例2

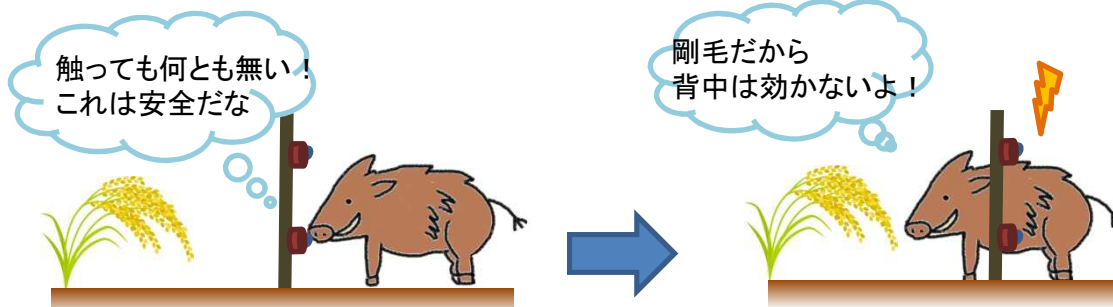
田んぼで電気柵を使っているけど、稲刈りは終わったからスイッチは切ったよ。片付けるのも大変だから、柵線は冬も張っておくんだよ。

電気柵を張った最初の年はよく効いたのに、翌年はイノシシに何回か入られたよ。電気柵はやっぱり効かないのかねえ。



ここが間違い！！

通電していない状態の柵線を張っておくと動物が柵線に慣れてしまいます。再び通電しても、電気柵の効果が十分発揮されない可能性があります。



動物は、初めて見る物は鼻や唇の敏感な部分で触って確認します。この時、通電していないと電気柵を安全なものだと認識してしまいます。

安全だと分かると、鼻や唇で確認をしなくなります。背中の毛は剛毛で、電気刺激を感じにくいので、電気柵を通過するようになります。結果、通電していても侵入されるようになってしまいます。



電気柵を設置したら、確実にビリッとさせましょう！！
動物に、電気柵は安全・突破できると思わせない！！

柵線を張っている時は常に24時間通電します。
通電しない場合は速やかに柵線を撤去しましょう。
新たに電気柵を設置するときは、柵線は最終日に張り、すぐに通電しましょう。
正しい使用法で、電気柵を効果的に使いましょう！！